



理工系女子！ ワクワク夏の文化祭！2015

2015年8月29日 13:00～15:45

経団連会館 国際会議場

8月29日、経団連会館 国際会議場において、女子中高生の理工系分野への進路選択を促進するためのシンポジウム「理工系女子！ワクワク夏の文化祭！2015」を開催しました。これは、内閣府、経団連、日本経済新聞社、日経BP社が共催で実施したものであり、理工系の進路に興味を持つ女子中高生と保護者、併せて約250名が参加しました。主催者を代表して、有村治子内閣府特命担当大臣（男女共同参画）並びに伊藤一郎経団連女性の活躍推進委員長からご挨拶がありました。



■ パネルディスカッション①（理工系女子大学生による）

理工系大学・大学院に通う3名（東京大学大学院 小山英利香さん、東京電機大学 本田美咲さん、中央大学 山田真衣さん）をパネリストに、国際女性技術者・科学者ネットワーク・日本名誉会長の都河明子先生の進行で、トークセッションを行いました。

この中で、都河先生は、具体的な理工系の学部を挙げて、そこからどのような職種の選択肢が広がっているのか説明され、3人のパネリストからは、理工系を選んだきっかけや学生生活、研究内容などについて発表がありました。



- ★ 小山さんは、子供の頃から大好きなSF小説の世界を現実になりたいという思いで理工系を選び、苦手だった理数の勉強に取り組まれたそうです。

- ★ 本田さんは、理工系は技術を身に着ける。
- ★ 山田さんは、進路を選ぶフローチャートでは文系の結果が出たのですが、ご家族の影響もあり理系に進みたい気持ちが強く、理系の勉強に取り組まれたそうです。

3人のパネリストとも、理工系に進むにあたり、両親の理解や応援にとっても感謝しているとお話ししてくださいました。



■ パネルディスカッション②（理工系女性社会人による）

後半は、モデレーターに、早稲田大学助教/H2L チーフリサーチャー玉城絵美さんを招き、理工系社会人の3名（清水建設 小島梨恵子さん、日立製作所 古和美由紀さん、三菱重工業 藤原加那さん）のリレートークを実施しました。

3人から、仕事内容やそこに至るまでの経歴、学生時代に理工系に進んだきっかけ、就職活動についてスピーチされました。

- ★ 小島さんは、小学生のときに車で通った東京湾アクアラインに感動したことを思い出し、建設業への入社を決めたとお話しになりました。

- ★ 古和さんは、女性が少ない職場ではあるものの、ロールモデルとなる女性の先輩がいきいきと働いているので、仕事と家庭生活の両立に不安は感じていないそうです。



- ★ 藤原さんは、職場では男女の差を感じることはないとのことでした。また、理工系の良いところとして、論理的に結論を導くことができることを挙げられました。

また、3人の共通点は、学生時代に勉強だけでなく、部活動にも積極的に取り組んでいたことです。学生の皆さんには「毎日を楽しみ、興味を持ったことや夢を追い続けて欲しい」とメッセージを贈っていただきました。

シンポジウム終了後のアンケートでは、「理工系の分野に興味を持てた」、「理工系に進学したいと思った」といった前向きな意見が多数寄せられました。